

国内生産

ハダニ類の天敵混合製剤

ミッチトップ MiChi-Top

チリカブリダニ・ミヤコカブリダニ剤



捕食!



捕食!



ハダニ防除に
ダブルで効く!



商品詳細

※出荷方法および仕様は予告なく変更する場合があります。

商品名：ミッチトップ
種類名：チリカブリダニ・ミヤコカブリダニ剤
製品規格：ミヤコカブリダニ 1,600頭/250mLボトル
チリカブリダニ 400頭/250mLボトル
その他の成分の鉱物質は石綿不検出
(農林水産省登録第 24466号)

学名： *Neoseiulus californicus*
(ミヤコカブリダニ)
Phytoseiulus persimilis
(チリカブリダニ)

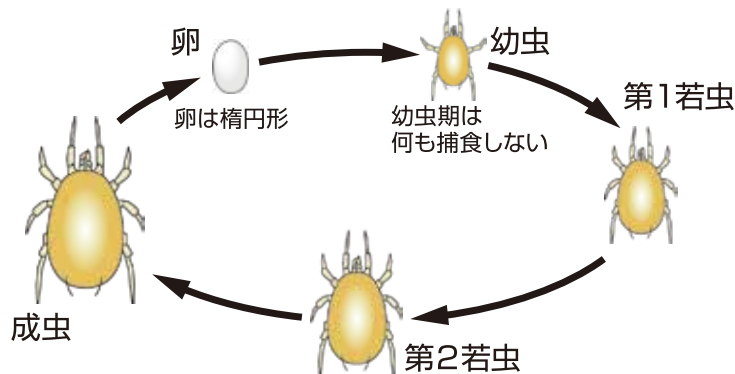


株式会社 アグリセクト
www.agrisect.com

■虫を知る 害虫とその天敵の生活サイクルを知り

天敵生物ミヤコカブリダニ・チリカブリダニの生態

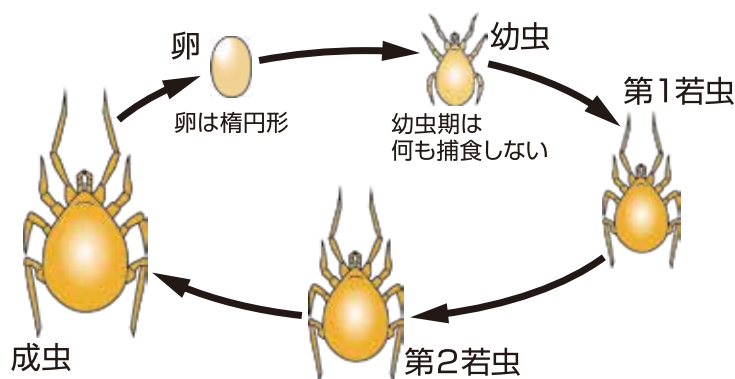
ミヤコカブリダニのライフサイクル



ミヤコカブリダニ

捕

チリカブリダニのライフサイクル



チリカブリダニ

捕

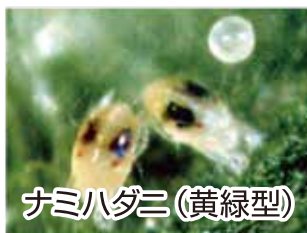
天敵生物名	ミヤコカブリダニ	チリカブリダニ
分布	日本、欧州、アルジェリア、南・北・中米	地中海沿岸、南米チリ
体長	雌成虫 約0.35mm	雌成虫 0.3~0.35mm
体色	半透明の淡いオレンジ色	オレンジ色
ライフサイクル	卵→幼虫→第1若虫→第2若虫→成虫 ※捕食活動を行うのは、第1・第2若虫および成虫	
活動適温	15~30℃	20~30℃
発育期間 (卵~成虫)	約5.5日 (25℃環境下)	約4.9日 (25℃環境下)
捕食対象	多種のハダニ類を捕食する。また、ハダニ類がいない場合は、作物の花粉等を食べて生存できる。ハダニ類の卵から成虫までの全発育ステージを捕食する (卵を好む)。	ハダニ類 (ナミハダニ、カンザワハダニなど) を捕食する。ハダニ類の卵から成虫までの全発育ステージを捕食する (卵を好む)。
雌成虫の平均捕食数	ハダニ卵の場合、1日あたり約10個 (26℃環境下)	ハダニ卵の場合、1日あたり約28個 (30℃環境下)

ましよう。

害虫ナミハダニの生態

食

食

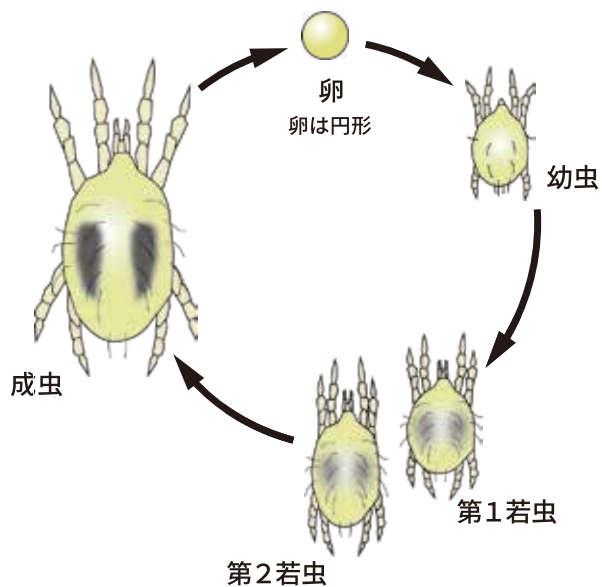


ナミハダニ (黄緑型)



ナミハダニ (赤色型)

ナミハダニのライフサイクル



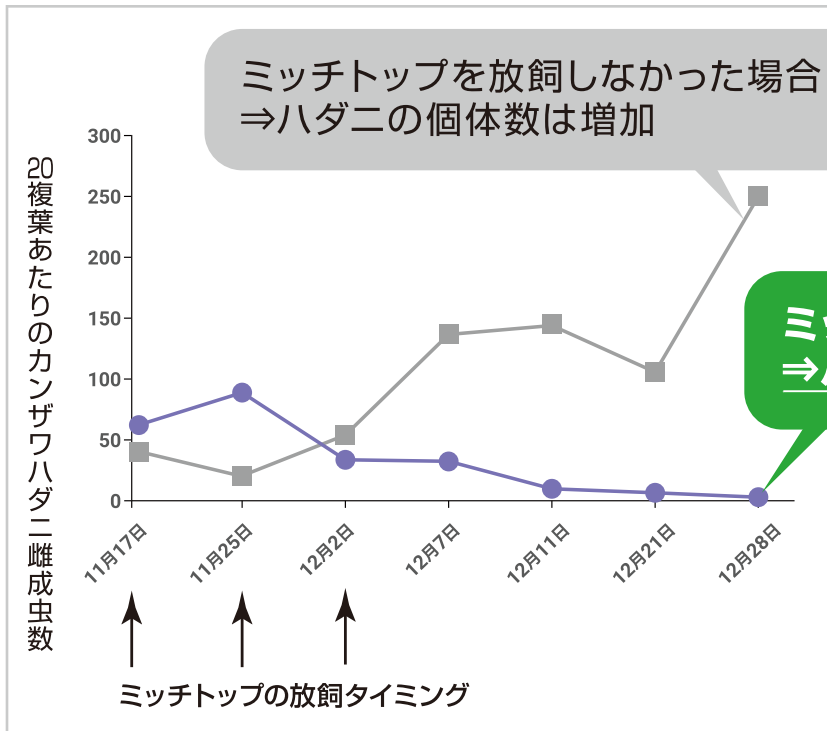
ナミハダニによる被害 (白色小斑)



ナミハダニによる被害 (クモの巣状の糸)

体長	雌成虫 約0.6mm
体色	黄緑色 および 赤色
ライフサイクル	卵→幼虫→第1若虫→第2若虫→成虫 ※卵以外の全発育ステージで植物を加害する。
活動適温	20～25℃
発育期間 (卵～成虫)	約10日 (25℃環境下)
被害	主に植物の葉裏に寄生し、吸汁する。多発生するとクモの巣状に糸を分泌して作物を覆い、枯死させることもある。 雌1頭からでも繁殖 (単為生殖) が可能なため、被害の拡大が進みやすい。

ミッチトップのハダニ類に対する防除効果



試験地：福岡県農林業総合試験場（2015年）
害虫発生状況：ハダニ類（カンザワハダニ）中発生
作物名：イチゴ（品種：あまおう、定植：2015年10月15日）
ミッチトップ使用量：10aあたり1本
放飼月日：2015年11月18日、11月25日、12月2日

ミッチトップの特徴

ミヤコカブリダニをスケジュール導入した際、ハダニの潜在的な発生量が多いと、増加を抑えることができない場合があります。

こんな体験者に朗報：ミッチトップを導入しておけば、ミヤコカブリダニだけでは捕食しきれなかったハダニをチリカブリダニが捕食してくれます。



有効成分の種類：ミヤコカブリダニ、チリカブリダニ

含有量：ミヤコカブリダニ1,600頭/250mL

※第1、第2若虫および成虫を1,600頭以上封入しています。

チリカブリダニ400頭/250mL

※第1、第2若虫および成虫を400頭以上封入しています。

その他の成分：バーミキュライト（石綿不検出）

農林水産省登録第24466号

■ 適用表

作物名	適用病害虫名	使用量
野菜類 (施設栽培)	ハダニ類	1本/10a

2021.04

お問い合わせ・ご注文は

販売元

ミッチトップの導入タイミングと放飼回数

ハダニ類防除に天敵製剤の導入を考えたときに、迷わずミッチトップを導入しましょう。これまでミヤコカブリダニだけでは抑えきれなかった圃場でもおすすめです。ハダニの発生しやすい場所（ハウスの出入り口や側窓、暖房機付近）や、例年ハダニの発生が見られる箇所にミッチトップを重点的に放飼しましょう。

ハダニが多発生している場合は、ミヤコカブリダニ、チリカブリダニに対して影響の少ない農薬を散布し、できるだけハダニの密度を下げてから放飼してください。

⇒本書の **ハダニ防除でミッチトップと併用できる農薬** をご参照ください。

使用量は10aあたり1本です。

放飼回数は1~3回で、放飼は1週間ごとに複数回行ってください。



導入前の注意点

●これまで使用した農薬がミヤコカブリダニ、チリカブリダニに影響しないか確認しましょう。

⇒本書の **ミッチトップに対する農薬の残効期間もしくは影響の程度について** をご参照ください。

ミッチトップの導入手順



←ミッチトップの放飼方法を動画で確認できます。

① 天敵が届いたら

輸送用箱から取り出したボトルを横向きに静置して、ゆっくり常温に戻します。



注意!

ミッチトップの到着後は、当日に全て放飼し、使い切ってください。万一放飼が翌日になる場合は、容器を新聞紙に包んで乾燥を防ぎ、冷蔵庫の野菜室で保管してください。

② ボトル内を攪拌する

ボトル内のミヤコカブリダニ、チリカブリダニの偏在を防ぐため、ボトルを横にしてゆっくり20回程度回転させ、密度を均一にしてください。



注意!

ボトルを上下左右に激しく振るなど、手荒に扱くと天敵生物が圧死してしまうため、注意してください。

③ 天敵放飼

ボトルを開封し、施設全体に放飼します。

ハダニの発生しやすい場所（ハウスの出入り口や側窓、暖房機付近）や、例年ハダニの発生が見られる箇所に重点的に放飼します。



Point!

ボトル内の天敵生物の偏在を防ぐために、放飼中も小まめにボトルを回転させて、内容物を攪拌してください。



注意!

ハダニは乾燥していると繁殖しやすい傾向があります。降雨が少ない時期は特に注意しましょう。



ハウス出入り口付近



ハウス側窓付近



暖房機付近

④ 放飼が終わったら

放飼後のボトルは、天敵生物がボトル内に残っているため、畝の上に静置してください。



Point!

天敵生物が良く定着するように、放飼から1週間は葉面散布剤や農薬の使用は避けてください。

⑤ その後の確認方法

ミヤコカブリダニ、チリカブリダニが定着すると、葉裏や花の周辺で見られるようになります。肉眼でも確認できますが、ルーペがあると観察に便利です。



Point!

チリカブリダニの卵は、湿度が70%以下になると孵化率が極端に下がります。ミヤコカブリダニ、チリカブリダニを定着させるために、ハウス内の湿度を高め、保ちましょう。

ミッチトップに対する農薬の残効期間もしくは影響の程度について

- ・表中の数字は残効日数を表します。天敵の放飼は残効期間（「日数」×24時間）以上の期間を経たから行ってください。
- ・「0」は農薬散布当日を表しますが、散布後、薬液が乾燥するまでは影響がありますので注意してください。
- ・「影響ない」「ほとんど影響ない」と表示されている農薬でも、散布後、薬液が乾燥するまでは影響がありますので注意してください。

【殺虫剤・殺ダニ剤】

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
アカリタッチ乳剤	乾燥後影響ない
アクタラ顆粒水溶剤	14
アタブロン乳剤	9
アドマイヤー1粒剤	0
アドマイヤー顆粒水和剤/ 水和剤/フロアブル	0
アニキ乳剤	7
アフーム乳剤	卵・成虫の死亡率高い
アブロード水和剤	0
アルバリン顆粒水溶剤/粒剤	長期間残効する可能性あり
エコピタ液剤	乾燥後影響ない
オレート液剤	0
カネマイトフロアブル	0
グレーシア乳剤	長期間残効する可能性あり
コルト顆粒水和剤	ほとんど影響ない
コロマイト乳剤	7
サフオイル乳剤	乾燥後影響ない
サンクリスタル乳剤	乾燥後影響ない
スタークル顆粒水溶剤/粒剤	長期間残効する可能性あり
スターマイトフロアブル	卵・雌成虫にほとんど影響ない
スピノエース顆粒水和剤	7
ダニオーテフロアブル	ほとんど影響ない

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
ダニコングフロアブル	1
ダブルフェースフロアブル	14
チェス顆粒水和剤	0
ディアナSC	卵・成虫の死亡率高い
トリガード液剤	0
ニッソラン水和剤	0
粘着くん液剤	乾燥後影響ない
ファインセーブフロアブル	ほとんど影響ない
フーモン	乾燥後影響ない
プリロッソ粒剤	ほとんど影響ない
プレオフロアブル	ほとんど影響ない
プレバソンフロアブル5	ほとんど影響ない
ベネビアOD	ほとんど影響ない
ベリマークSC	ほとんど影響ない
マイトコーネフロアブル	0
マッチ乳剤	0
ムシラップ	乾燥後影響ない
モスピラン顆粒水溶剤/水溶剤	成虫に影響ないが卵に影響ある
モベントフロアブル	長期間残効する可能性あり
ヨーバルフロアブル	ほとんど影響ない

- ・表中の残効期間や影響の程度は目安です。
農薬散布時の環境（展着剤、温湿度、天候、紫外線量、換気条件など）によって変化するのでご注意ください。
- ・本表は現場情報に基づく弊社の知見をもとに作成しました。
詳細は各農薬メーカーにお問い合わせください（農薬ラベルをご確認ください）。



弊社HPからも
ご確認ください。

【殺菌剤】

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
インプレッションクリア	ほとんど影響ない
オーソサイド水和剤80	0
ケンジャフロアブル	ほとんど影響ない
ジマンダイセン水和剤	0
ショウチノスケフロアブル	1
ダコニール1000	0

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
トップジンM水和剤	21
トリフミン水和剤	0
ネクスターフロアブル	ほとんど影響ない
パレード20フロアブル	ほとんど影響ない
パンチョTF顆粒水和剤	ほとんど影響ない
ピクシオDF	ほとんど影響ない

ハダニ防除でミッチトップと併用できる農薬

※ミッチトップの導入前後に散布してもミヤコカブリダニ、チリカブリダニに対する影響が少ない農薬を抜粋しています。

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
カネマイトフロアブル	0
スターマイトフロアブル	卵・雌成虫にほとんど影響ない
ダニオーテフロアブル	ほとんど影響ない

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
ニッソラン水和剤	0
マイトコーネフロアブル	0